

彼方「かなた」

校長通信
H24.7.19
Vol.15

【終業式で伝えたかったこと】



耐震工事の関係でグラウンドでの終業式になりました。なかなか経験できることではありません。

三年生にとってはひとつひとつの行事が学校生活最後の行事となります。このようなグラウンドでの終業式もみなさんの大切な思い出の中に刻んで欲しいと思います。また、二学期以降の行事についても悔いの残らぬよう一生懸命に作り上げて欲しいと思います。

さて、そこで皆さんに考えて欲しいことがあります。それは、「学校は何を勉強するところ？」という簡単な問いです。：答えは色々です。十人の人に聞けば十通りの答えが返ってきます。しかもどれも正解です。今日は、私の考えをみなさんに伝えたいと思います。私の答えは、「学校は団体戦の勉強をするところですよ。」ということですよ。もう少し分かり易く説明します。三年生の中には先週の葛南大会で中学校での部活動の最後を終えた人がいます。これから最後の大会やコンクールに臨む人もいます。部活動を例にして考えてみると分かり易いかもしれません。次の言葉は、昔からラグビーでよく使われる言葉



です。「ONE FOR ALL! ALL FOR ONE!」聞いたことがありますか？京都に伏見工業という全国屈指のラグビー部がありますが、最初は学校中のツッパリが集まるメチャクチャなチームでした。公式戦でも一対二で負けてしまうようなチームでした。でも、当時の山口監督がことあるごとに「ラグビーは十五人がひとつになって初めてボールを前に運べる。ひとりではみんなのために、みんなは一人のために、ONE FOR ALL! ALL FOR ONE!」これがラグビーだ。」と教え続けました。一人一人が変わっていききました。タバコも止め、ケンカや夜遊びもなくなり、親や先生の話しも聴くようになりました。そして部員が互いに声をかけながら本気で打ち込み、起き上がれなくなるまで一生懸命頑張り、一年後には京都で一番のチームになり、その後全国大会でも優勝するようになったチームになりました。

学校は、一人で勉強する所じゃなくてみんなで勉強する場所なのです。授業も一人ができればよいのではなく、みんながわかっていることが目標なのです。学級で問題があればみんなで解決していくのです。三年生の進路実現も一人一人の問題として考えるのではなくみんなを取り組まなければなりません。「教えて！」「いいよ!」という



関係が作られないと一人ではわからないまま教室にいなければなりません。力がつくわけがありません。「俺もやるから一緒に頑張ろう!」という雰囲気のある学級の方が、必ずよい成果が得られます。



いじめのアンケートの結果が手元に届きました。まだ学校が団体戦を学ぶ場所だと意識していない人がいます。いじめられている人のためにいじめている人は直ぐに謝ってリスタートしなさい。見ていて何も言えないでいる人は、行動を起こしなさい。それは、自分から声をかけるのでも、先生に事実を伝えるのでも親に話すのでもOKです。いじめられている人のために行動しなさい。いじめられている人のために動きなさい。いじめられている人も自分から声を上げてください。それでもまだダメなことがあれば、みんなで行動を正してください。それが団体戦の勉強です。一学期その勉強が少なかった人は、二学期に頑張りましょう! 夏休みは学校を離れて個々の目標に向けてがんばる個人戦の勉強です。有意義な生活を送って、しっかりとリフレッシュしてください。元気な顔で二学期にまた会いましょう!